

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター北浜担当圏域レベル） 開催報告書	
1 開催日時	令和 6 年 8 月 2 日（金） 10 時 00 分 ～ 11 時 30 分
2 開催場所	浜松市ふれあい交流センター浜北 2 階大会議室
3 参加者	・委員（自治会、民生委員児童委員協議会、地区社協、障がい者相談支援センター、浜北区長寿保険課、地域包括支援センター、CSWなど）： 10 名 ・行政（高齢者福祉課、浜北区長寿保険課）： 3 名 ・地域包括支援センター北浜： 1 名 ・市社協（地域支援課、浜北地区センター）： 3 名
4 協議の内容	I. 開会 II. 委員紹介 III. 議事 （1）会長、副会長の指名 今年度より、新たな会長、副会長 2 名を選任。 （2）令和 5 年度生活支援体制づくり協議体の会議の振り返り ・サロン活動立ち上げ用チラシの取り組みについて 【事務局】サロンの活動の立ち上げをテーマに話を進め、令和 5 年度ではサロン活動の立ち上げを促すことを目的にチラシを作成。第 1 回はチラシの目的、ターゲットの確認。第 2 回は文言やレイアウトの修正。第 3 回は配布方法や配布時期、枚数等の話し合いを行った。その後、自治会長会議や地区社協総会にて説明を行い、関係機関にチラシの配架をお願いした。配布後、市社協に問い合わせが 3 件あった。2 件はサロンに参加したいという問い合わせ。希望するサロンを紹介し 1 件はサロンに参加、もう 1 件は家から歩く必要があるとのことで辞退。もう 1 件は、竜南の方で新たな居場所が欲しいとのことだった。立ち上げたいのではなく、自分が参加したいということだった。委員の皆様にも問い合わせがあれば共有したい。 【委員】個人的にチラシを見たと言った。西中の公民館が新しくなるため、そこで何かできるといいという話もあった。 【委員】今の 3 件、もう少し具体的に背景を教えてほしい。 【事務局】3 月に横須賀の方より、チラシを見てサロンに参加したいので紹介してほしいと問い合わせ。お住まいから横須賀歌おう会を紹介。興味があるとのことで、サロン

の代表者と直接やり取りしていただいた。その後、サロンに参加していただいたとのこと。もう1人は沼の方で童謡唱歌に興味があるとのこと。横須賀歌おう会を紹介したが、問い合わせいただいた方が視覚障害のある方で、歩いていくのも大変でサロンの活動日は予定があり難しいとのことだった。

【委員】北浜中地区社協ボランティアコーナーにもサロンの相談電話があったが、電話に出た担当者は内容が分からず答えられなかった、と報告を受けた。電話番号も交代制のため、人によっては内容を伝えるのが難しいと感じた。

(3) 令和6年度生活支援体制づくり協議体会議の取り組みについて

【事務局】今年度のテーマを決め、どのように進めていくかご意見をいただきたい。今年度は、一般の方向けにサロンへの参加を促すチラシを作成して配布できたらと思うがいかがか。チラシは事務局で内容を整え、次回会議で最終調整し、その後印刷し、昨年のチラシより早いペースで進められるといいのではと思っている。

【委員】先ほどの家事支援への問い合わせの件は難しい。

【委員】電話に出てもわからないから市社協に聞いてとなってしまう。

【委員】問い合わせについては、運営委員にサロンの勉強会をしてもらい、電話相談に答えられるとよいのではないか。

【委員】差支えなければ、問い合わせの欄について、担当者の苗字をあえて記載するのはどうか。担当者の名前があったほうが確実に繋がるのではないか。たらい回しにされてしまう感覚になる。窓口一本化のほうがいいのではと思う。

【委員】勉強会をやってみたいと思う。浜北地区センターの字を大きくするのもいいのでは。3件の事例で思ったのは、童謡唱歌をしたいなど目的意識を持った方だった。そのあたりも上手くチラシに反映させられたらいいと思う。

【委員】一般の方が参加しようとする、自治会に言えばわかるような形にしないといけないのでは。サロンをやってない自治会もある。

【委員】サロンについては、地区社協全員が知らないといけないと思う。勉強会をした方がいいのでは。

【委員】自治会長にも声を掛けて自治会からも呼びかけてもらえるといい。

【委員】サロンに参加してみませんかのチラシは自治会すべてに配るのか。チラシに事例があるが「やりたいな」と思っても自治会ごとに内容が変わる。

【委員】まずはやってみる。自治会も巻き込んで、どういう結果が出るのかやらなきゃわからない。

【委員】何もやっていない地域もある。

【委員】やっていないところが肩身の狭い思いをするのもつらい。

【委員】自治会によってそれも違うということも、ロコモしかやってないのかいうこと

も、このチラシを見れば言える。

【委員】チラシの内容をやっているのはごく一部。このように紹介されると戸惑うのでは。「例」と加えてもらえたら。

【委員】自治会＝サロンでもない。

【事務局】サロンにより内容は異なるということがわかるような文言を入れていきたい。

【委員】あまり字が多いと見ない。字を大きくしたり、イラストをいれるとかしないと。

【委員】「サロンを始めよう」のチラシと内容がダブってしまう。

【委員】回覧板で回ってくるが、ほとんど見ない。訃報は見るが、見ずに回ってしまうことも多いのでは。持って手渡してくれるようになるといい。

【委員】配布方法について、回覧だと見ないという意見も出た。全戸配布ができればそれもいいが無理か。北浜中地区と北浜東部地区の全戸配布について予算があるか、検討してもらえるといい。全戸配布できると実績にもなる。

【委員】公民館に、もう少し大きなものを貼っておくとか、常に目に入るところに貼っておく。

【委員】サロンを全然知らない人に意見を聞きたい。知っている人が作っているのに、知らない人に意見を聞けるような場があれば。知らない人がこのチラシを見てやってみたいなと思うようにしないと。

【委員】全戸配布だと「私は関係ない」と思う人もいるのでは。全戸配布ならもう少し具体的にした方がいい。

【委員】ぱっと見て対象者がわからないかなと感じた。どこでやっているのかがわかると、もう少し問い合わせる勇気が出るのかなと思った。

【委員】サロンは子供連れにも呼びかけはするが、実際にはお年寄りの方が多い。

【委員】お年寄りの皆さんへ、としたら怒ると思う。

【委員】サロンとは、シニアクラブやロコトレサロンかなと思ったが、どの世代が来てもいいということか。

【委員】一人暮らしの方が出かける場、介護保険を受けないような事前の予防事業としてサロンがあると理解している。

【委員】今のサロンの在り方をみると高齢者が対象。高齢者を対象に、サロンに参加してみませんか、でいいのではないか。

【委員】基本はこのチラシで、大きく直すことがあれば言ってもらい次回に進めたい。

【委員】（チラシの部分で）サロンの効果と参加者の声が似ている。サロン参加者の声を空白にして、地区ごとにラベルシールにして、あとから回覧して回すのはどうか。

【委員】サロンをやっていないところが困るのでは。

【委員】チラシを見た方が行きたくなるような工夫として、全戸配布するなら切り取り

線を作り、おためし券ではないが、持っていくと粗品をもらえるようなものはどうか。

【委員】アイデアとはしてはすごく面白いと思う。

【事務局】確認をさせてもらいたい。チラシの問い合わせ先は、字の大きさを変更し市社協浜北地区センターを上、北浜中地区と北浜東部地区の字を下にして小さめに。内容はサロンによって異なることを一文加える。対象については、お一人暮らしの方、どなたでも参加できる文言を考えたい。裏面についてはどうか。

【委員】チラシの参加者の声は、参加している前提の会話。

【委員】写真は良いと思う。写真をもう少し大きく、字は少なくした方がいい。

【委員】北浜協議体に今回初めて出させていただいた。私としては、浜北地区センターは小さくていい。北浜中地区社協と北浜東部地区社協を大きく出してほしい。わからないことは折り返しでもいいし、浜北地区センターへでもいいと思う。地域の中に地区社協があることを前面に出してほしい。受け取った高齢者の立場で見たときに、最初に感じるのはどこにあるのか？何回行けるのか？利用料金は？お昼ご飯やおやつは出るのか？などが気になるのではと思う。そういった情報は色んなサロンあると思うが、受け取った方が行ってみたいなと思えるようなチラシが必要なんじゃないかと思う。案が出る前に議論いただけるといい。

【委員】主体は、北浜中地区であり北浜東部地区である。

【委員】自分がどちらの地区社協の管轄かわからないのではないかと、だから地区センターを出してきた。

【委員】問い合わせを市社協浜北センターにするのか、そのあたり検討していきたい。次回、最終調整後、印刷できるように協議したい。最終確認は、このメンバーでなくてもいいと思う。今回ご意見いただいたことを次回の素案に反映していきたい。今年度の活動で、他に事務局で考えていることはあるか。

【事務局】チラシは、事務局や会長と内容を相談しながら修正していきたい。今年度の取り組み案として、実際に立ち上げたいと思っている方が参考になり、今サロン運営で悩んでいる方も初心に立ち返られるような、サロン運営のコツやポイントなどを掲載した手引きを作っていくのはどうかと思う。事務局案として提案したい。

【委員】非常に良いと思う。全戸配布ではないから、内容を濃くして、やっている人の苦労話を載せたりするなどできたらいいと思う。大賛成。

【委員】やろうとしている人にお渡しできたらいい。今日決めたほうがいいのか。

【事務局】作っていくかどうかは今日決めていきたい。

【委員】手引きというのは立ち上げる方のために、どんな活動しているのか内容も載せるとイメージしやすい。各地区のサロン活動内容も載せていただくと立ち上げのイメージもしやすいと思う。まとめるのは大変かなと思うが。

【委員】サロンのマニュアルを作るということでよいか。

【委員】冊子に近くなると思うかもしれないが、それを見てサロンを立ち上げていただけたらと思う。

【事務局】次回は、スクリーンに映し出しながら、チラシ案も複数準備していきたい。

【委員】スケジュール的には来年の今頃に完成形ができればと思うが、協議体というのは協議することが目的、成果物も欲しいが情報を共有することでいいと思う。次回、チラシの修正案とマニュアルのアウトラインを出していく。

IV. その他

- ・委員報酬の支払い方法変更について。
- ・次回は、令和6年11月15日(金)10時より第2回会議実施予定。

5 今後の見通し・ 必要な対応

北浜協議体の今後の取り組みとして、サロンへの参加を促すチラシとサロン運営の手引きを作成することに決定したため、次回会議でチラシの修正案と手引きのアウトラインと提示できるように準備を進める。市内や他市町で作成されたものなども参考にしながら、十分に活用されるものになるように、多くの意見を取り入れながら作成する。